

平成 27 年度第 1 回
横浜市公共事業評価委員会
平成 27 年 11 月 10 日(火)
横 浜 市

【水道－ 1 】 事後評価

(仮称)川井から鶴ヶ峰配水池口径 1,000mm

導水管更新工事

[鶴ヶ峰幹線口径 1000mm 送水管改良工事 (川井から鶴ヶ峰) ほか]

(水道局)

(様式4)

公共事業事後評価調書 (案)

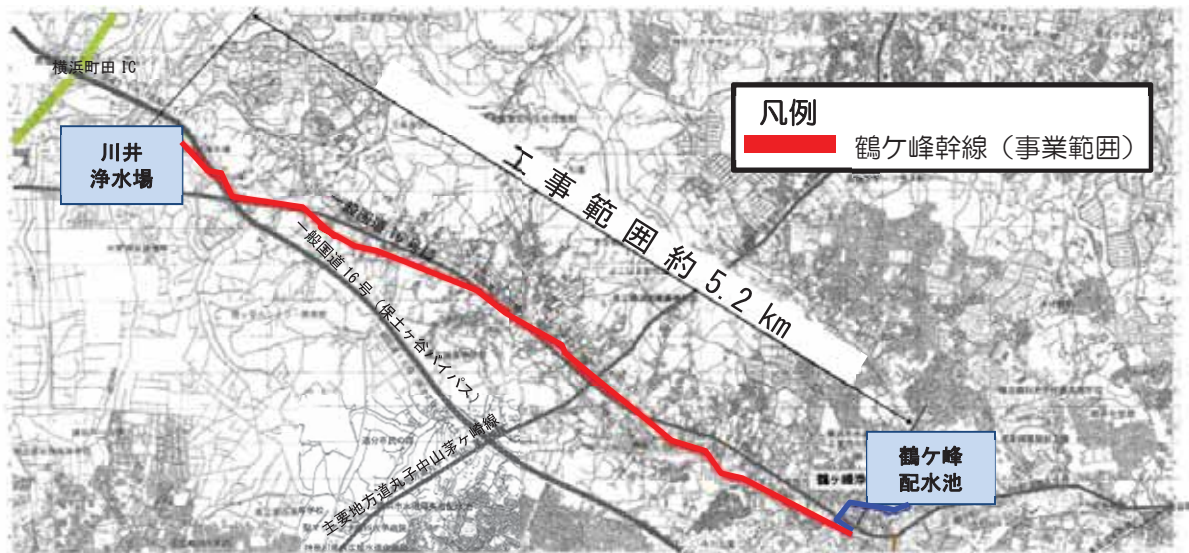
番 号	水道-1	事業担当局課	水道局計画課										
事業名	(仮称)川井から鶴ヶ峰配水池口径1,000mm導水管更新工事 [鶴ヶ峰幹線口径1000mm送水管改良工事(川井から鶴ヶ峰)ほか]		完了年度	平成26年度									
施工場所	横浜市旭区上川井町2555番地先から旭区鶴ヶ峰本町一丁目32番地先		経過年数	1年									
目的及び事業概要	<p>本市の浄水場については、平成18年7月に策定した「横浜水道長期ビジョン・10か年プラン」における「自然流下系浄水場の統廃合」の考え方にに基づき、施設の効率化を図り、水処理を容易にするため、自然流下系の3つの浄水場を2つに統合しました(別添資料)。</p> <p>この結果、川井浄水場から旧鶴ヶ峰浄水場跡地に整備している鶴ヶ峰1号配水池及び鶴ヶ峰2号配水池への送水管(鶴ヶ峰幹線)が必要となったため、これまで道志川系導水管として使用していた管路の一部5.2kmを活用し、内挿管工法により、整備しました。</p> <p>事業期間:平成20~26年度(稼働:平成26年度) 総事業費:約22億円(建設費)</p>												
要因の変化 ・ 事業計画の変更の経緯等	<p>事業費や事業期間等について、大きな変更はありませんでした。</p> <p><参考>比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19事前評価時点</th> <th>H26完了時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td>約25億円</td> <td>約22億円</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成20~27年度稼働</td> <td>平成20~26年度稼働</td> </tr> </tbody> </table>					H19事前評価時点	H26完了時点	総事業費	約25億円	約22億円	事業期間	平成20~27年度稼働	平成20~26年度稼働
	H19事前評価時点	H26完了時点											
総事業費	約25億円	約22億円											
事業期間	平成20~27年度稼働	平成20~26年度稼働											
事業の効果の発現状況 (費用便益分析等)	<p>本送水管により、川井浄水場で処理された水は自然流下で鶴ヶ峰2号配水池[※]へ送水しています。</p> <p>本送水管により、川井浄水場の給水世帯は約8万世帯拡大されました。</p> <p>※1 鶴ヶ峰1号配水池は施工中のため、工事完了後送水する計画です。</p>												
対応方針 (案)	<p>計画通りに事業が完了しており、改善措置の必要性等は特にありません。今後、同種事業を進める際も、着実な事業遂行に努めます。</p>												
添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無												

本市の浄水場の整備状況(自然流下系浄水場の統廃合)

浄水場	導水方式	水源系統 (変更前 → 変更後)	実施状況
① 川井浄水場	自然流下系	道志川・相模湖系 → 道志川系全量	26年4月稼動(膜ろ過施設)
② 西谷浄水場		道志川・相模湖系 → 相模湖系全量	再整備計画の検討中
③ 鶴ヶ峰浄水場		相模湖系 → 廃止(26年3月)	現在は配水池として整備中
④ 小雀浄水場	ポンプ系	馬入川系: 当面変更無し	今後、施設のあり方を検討



工事位置図



内挿管工法イメージ図

